

一宮川の激特事業の効果について

激甚災害対策特別緊急事業



一宮川は、平成元年7月の豪雨により流域の茂原市街地において、大規模な氾濫が生じ、浸水面積383ha、浸水家屋2371戸におよぶ甚大な被害が発生。

このため、**激特事業**で調節池2池を含む河川改修を実施

調節池の効果

平成7年の台風12号で、平成元年を上回る総雨量320mmを記録したが、茂原市内に被害はなかった。この調節池で貯留した量は、約60万t、小学校の25mプール約1200個に相当する。



過去の洪水の降雨量(流域平均雨量 単位mm)

洪水雨量	平成元年8月1日 (台風12号)	平成7年9月17日 (台風12号)	平成8年9月22日 (台風17号)
時間最大雨量	38	33	43
日雨量	205	214	307
総雨量	238	320	307

平成8年の台風17号で浸水面積1260ha、浸水家屋2594戸の被害が発生した。このため再度、激特事業で調節池2池を含む河川改修を実施。



1/3に減少

